

---

# 建屋止水対策工事中の電源ケーブル切断について (再発防止対策の進捗状況)

平成26年4月9日  
東京電力株式会社

# ■事象の概要と原因

## ■発生概要

1～4号機高温焼却炉建屋他止水対策工事において、地盤改良に伴うボーリング掘削中に、現地盤から約-1m地点のエフレックス管内のケーブルを切断させ、4号機使用済燃料プールの二次系冷却が停止した。

## ■原因

### 1. 事前の情報収集及び共有不足

- ・安全事前評価は当社主管部と関係会社のみで行われており、埋設物に関係する部署の情報が適切に得られることが難しかったと思われる。

### 2. 思いこみ

- ・当社主管部に、震災以降に設置されたケーブル・配管等は震災前地盤面下には埋められていないとの思いこみがあった。

### 3. 異常情報共有の不足

- ・本掘削開始後に、想定していない埋設物があることが分かったが、配管やケーブルの類でなかったため、一旦立ち止まり関係箇所との情報共有をせずに作業を継続した。

## ■発生場所



# ■再発防止対策の進捗状況について

## 1. 安全事前評価の実施体制の見直し

・関係部門が幅広く多面的にチェックを行う体制を構築するため、福島第一安全事前評価ガイドの改訂を行い所内に周知。(H26.3.28改訂済)

→重要な配管・ケーブル等の埋設のおそれのある箇所での掘削は発電所全体で安全事前評価を実施。



## 2. 埋設物マップの高度化、現場表示

・現在、ケーブル・配管等の布設状況を調査中。布設図の作成および情報の一元集約化と共有化の仕組みを上期中を目途に構築する予定。

## 3. その他（設備の本設化等）

・今後設置する重要なケーブル・配管類は、トレンチやU字構などに布設し、順次本設化を実施。



所内共通M/C 5A/Bの例 (H26.3)